

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年02月06日

計画の名称	飛騨市における循環のみちの実現												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	飛騨市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	356	A	356	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2	R4末	R6末
1	下水道整備面積を率で表し、それを95.9%(R2)から100%(R6)に増加させる。 下水道整備率 下水道整備面積(ha) / 計画面積(ha)	96%	98%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	飛騨市	直接	飛騨市	管渠(汚水)	新設	第1処理分区面整備(未普及解消)	150mm L=2.4km A=5.3ha	飛騨市						356	-	-
											小計						356		
											合計						356		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

関係部署（環境水道部水道課）により実施

事後評価の実施時期

令和7年12月

公表の方法

市ホームページによる

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

船津処理区第1処理分区面整備において、令和2年度から令和6年度までの整備計画により、整備率を100%とすることができた。
汚水処理人口普及率は、計画開始前の令和元年度末で97.0%だったが、整備完了の令和6年度末には98.5%に向上した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

当市の下水道面整備は令和6年度に完了した。今後は、人口減少や物価高騰などの社会情勢の変化が下水道事業経営に影響を及ぼすことが予想される。さらに、施設の老朽化が進行し、修繕・更新費用が増大するため、施設の統合推進や計画的な更新を行い、経費削減を図ることで、効率的かつ安定的な事業経営を目指す。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	100%